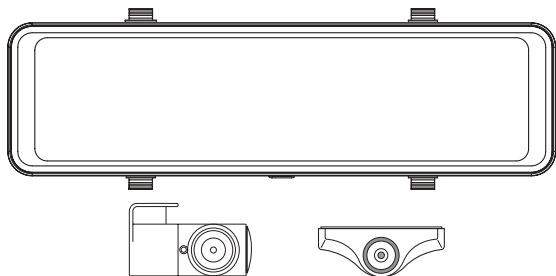


2カメラ・ルームミラー型ドライブレコーダー

SKY-DC330

取扱説明書

保証書付

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

本体の電源は DC5V です。必ず、付属のシガー電源コードまたはパーキングモードケーブル（型番：DC-JD4PK II）を使用してください。

目次

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意	3
免責について	4
個人情報の保護について	4
microSD/SDHC カードに関するご注意	5
LED 式信号機について	6
パソコンで映像の再生をする場合の動作環境	6
もしも事故が起きてしまったら	6

準備する

同梱品を確かめる	7
各部の名称	9

設置と接続

車へ取り付ける	11
1. 本体の取り付け	12
2. フロントカメラ部の取り付け	13
3. リアカメラ部の取り付け	14
4. GPS ユニットの取り付け	17
5. シガー電源コードの接続	18
6. 画質タッチによるフロントカメラ/リアカメラの表示切り替え	19
7. ガイドラインコードの接続	20

はじめにすること

1. SD カードを挿入する	21
2. SD カードのフォーマット(必ず行ってください)	22
3. 日時を確認する	25

撮る

録画を開始する	26
1. 常時録画	28
2. イベント録画(G センサー / 手動)	28
3. 静止画を撮る	29
録画を停止する	29

見る

本体で見る	30
パソコンで見る(SD カード)	33
パソコンで見る(専用ビューアー画面で見る)	35

GPS 機能を使う

速度超過警報	38
--------	----

各種設定

その他

記録時間の目安	46
パーキングモードケーブルを使う	47
本体ソフトウェアのアップデート	47

故障かな?と思ったら

主な仕様

保証規定 / 保証書

裏表紙

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。



注意

注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



警告



- 運転の妨げにならない場所に取り付ける

本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。万が一落下した場合でも、運転の支障にならない場所をお選びください。



- 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。



- 本機を濡らさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因になります。



- 車を運転中に本機を操作しない

車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。



- ケースは絶対にあけないでください

本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障や感電の原因となります。



- 内部に異物を入れない

内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。



- 異常があるときはすぐ使用をやる

発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、シガー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用されますと火災や感電の原因になります。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。

必ずお読みください

⚠ 注意



■衝撃や強い振動を加えない

使用している部品が壊れ故障の原因になります。



■使用温度範囲内で使用する

本機の温度保証範囲 (P.50) 以外で使用するると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分ご注意ください。



■高温時の取り扱いに注意する

本機に直射日光が当たっている状態など本機がかなり高温になっているときがありますので触れる際には、十分にご注意ください。



■お手入れの際、電源プラグを抜く

お手入れの際は必ず、シガー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。また、お手入れには柔らかい布またはティッシュペーパーを使用し、シンナー、ベンジン、アルコール類を使用しないでください。使用するとケースが変形するおそれがあります。



■日本国内で使用する

本機の仕様は日本国内向けとなっています。



■取り付け場所を十分に考慮する

(P.13、14)

免責について

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本商品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など
3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. お客様による映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
5. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

■個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

microSD/SDHC カードに関するご注意

本説明書では、特にことわりがない場合、「microSD/SDHC カード」を「SD カード」と表記させていただきます。

※ SD カードは消耗品です。

SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。

※ SD カードは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

※ フォーマットは必ず本機で行ってください。

但し、同梱以外の SD カードでは相性による動作不良が発生する可能性があります。フォーマットできない、フォーマットが出来ても録画しない、等の症状の場合は、その SD カードは使用できません。相性による動作不良に関しては弊社は一切の責任を負いかねます。

重要！

- ・ SD カードは専用のファイルシステムに書き換える必要があります。初めて使用される SD カードは本機でフォーマットを行ってから使用してください。（P.22 フォーマット確認画面が表示されます）
- ・ 本製品は専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステムに比べ、保存データの破損が少なく、記録と削除の繰り返しによる SD カードの断片化を格段に抑えたファイルシステムとなっているため、基本的にフォーマットを行う必要はありません（フォーマットフリー機能）が、安心して、ご使用いただくために、2ヶ月ごとにフォーマットしていただくことをお勧めします。（P.23）また、正常に書き込みや読み込みができない場合や、動作が不安定な場合には再度、本機でフォーマットを行ってください。

※ SD カードが寿命を迎えている場合、または正常に記録されない場合の動作例

- ・ 記録が開始されない
- ・ SD カードが挿入されていても「SD カードが挿入されていません」と表示される
- ・ 「SD カードエラー」と表示される

フォーマットをしても異常が起こる・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、SD カードを交換してください。

SD カードの寿命は概ね 3 ヶ月から 1 年程度です。（ドライブレコーダーのご使用状況（ご使用时间）により SD カードの寿命は変動します。この期間、また本製品の保証期間でカードの寿命を保証するものではありません）

また 1 年を経過したものはたとえ問題が無くても交換されることをお勧めします。

必ずお読みください

LED 式信号機について

LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、記録映像で信号機が点滅しているように見える場合があります。

パソコンで映像の再生をする場合の動作環境

- ・ Windows 8.1/10 /11 がインストールされたパソコン。
- ・ H.264 動画再生ソフトがインストールされていること。(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

重要！

もしも事故が起きてしまったら・・・

記録を停止しない限り、撮影を続けるため事故時の映像が上書きされてしまう場合があります。必ず撮影を停止し、本機から SD カードを取り出してケースなどで保護して保管してください。安心してお使いいただくために、定期的に記録されているか確認をお願いします。

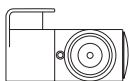
準備する

同梱品を確かめる

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。



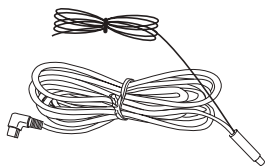
●本体 (1台)



●フロントカメラ (1台) ※両面テープ付

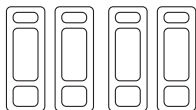


●防水リアカメラ (ケーブル長: 約 0.5 m)
(1台) 固定用両面テープ (1枚)

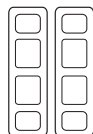


●リアカメラ接続ケーブル (約 10 m) (1本)
※リアカメラガイドライン用線 (約 1.2 m)

※本文のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。



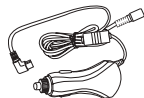
●本体固定用バンド (標準) 4本



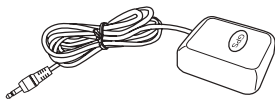
●本体固定用バンド (ロング) 2本



●フロントカメラ接続ケーブル
(ケーブル長: 約 1 m)



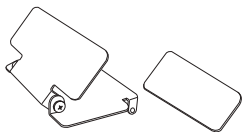
●シガー電源コード (約 3.5 m) (1本)
GPSユニット中継ケーブル付 (約 1 m)



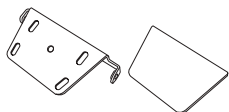
●GPSユニット (ケーブル長: 約 1.9 m)
(1台) ※両面テープ付

準備する

同梱品を確認する (つづき)



- 車内用リアカメラ取付ステー (1 個)
固定両面テープ (1 枚)



- 車外用リアカメラ取付ステー (1 個)
固定両面テープ (1 枚)



- リアカメラ取付ステー固定用
(車内用 / 車外用共通)
小ねじ、ばね座金 (各 4 個)



- 32GB microSDHC カード
(1 枚)

- ドライブレコーダー装着ステッカー (1 枚)



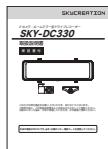
- 車外用リアカメラ取付ステー固定用
タッピングねじ (4 本)



- 反射防止フィルム (1 枚)
クリーニングクロス (1 枚)

別売品

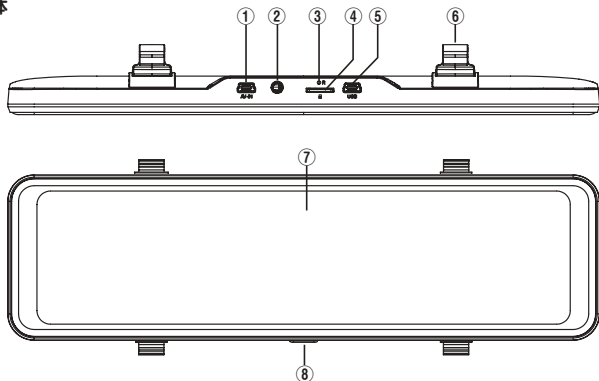
- ・リアカメラ接続ケーブル (15 m) : FC-DRMS22C15
- ・リアカメラ接続ケーブル (25 m) : FC-DRMS22C25
- ※ SKY-DC330 に同梱している 10 m ケーブルと交換して
使用します。ケーブル同士を継ぎ足しての使用はできま
せん。



- 取扱説明書 (本冊子)
保証書付 (1 冊)

各部の名称

■本体



- ① **リアカメラ接続端子 (AV IN)**
リアカメラ接続ケーブルのプラグを接続します。
- ② **フロントカメラ接続端子**
フロントカメラカメラ接続ケーブルのプラグ (φ 3.5) を接続します。
- ③ **リセットホール**
本製品が正常に動作しない場合やフリーズした場合に初期化をします。
(P.27 参照)
- ④ **マイクロ SD/SDHC カード挿入部**
microSD/SDHC カードを挿入します。
- ⑤ **電源端子 (USB)**
シガー電源コードのプラグを接続します。
電源入力は 5V です。必ず付属のカー電源コードを接続してください。
- ⑥ **本体固定用バンド取り付けフック**
固定用バンドで本体をルームミラーに固定します。
- ⑦ **ミラー型タッチパネル LCD スクリーン**
10.88 型 IPS 液晶採用。設定等の操作は画面タッチで行うことができます。ルームミラーとしてもカメラモニターとしても使用できます。
- ⑧ **電源 / モニター切替ボタン**
長押しで電源 OFF。短押しで電源 ON。電源 ON 時、短く押す度にカメラモニターの表示 ON/OFF 切り替え。

準備する

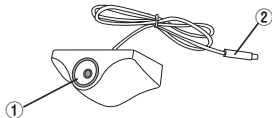
各部の名称 (つづき)

■フロントカメラ部



- ① レンズ
- ② 接続ケーブル端子 (マイクロ USB タイプ B)
フロントカメラ接続ケーブルのコネクター部と接続します。

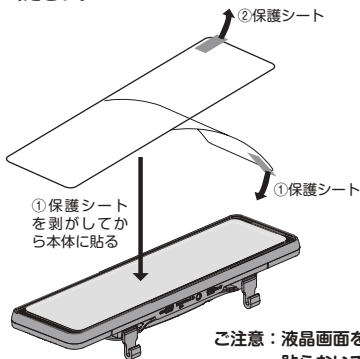
■防水リアカメラ部



- ① レンズ
- ② 接続ケーブル
リアカメラ接続ケーブルのコネクター部と接続します。

反射防止フィルムを貼る

液晶モニター部の反射や映り込みが気になる場合は、付属の反射防止フィルムを貼ってください。



1. 液晶モニター部のゴミ、汚れを取り除く
2. 反射防止フィルムに貼ってある“① BACK” 保護シートを剥がす
※貼り付け面に触れないように注意してください。
3. 液晶モニター部に位置を確認して貼る
※気泡が残っている場合は、スクリーンエッジへ押し付けて排出してください。
4. “② FRONT” 保護シートを剥がす

ご注意：液晶画面を消して、ルームミラーとして使用したい場合は貼らないでください。

設置と接続

車へ取り付ける

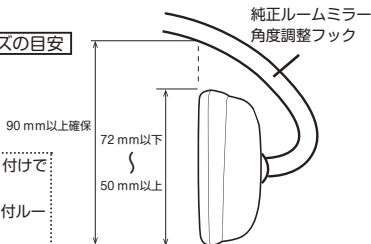
取り付け上のご注意

- 車を平らで安全な場所に駐車して作業をしてください。
- 配線後のコードが運転の支障にならないように固定してください。
- 道路運送車両法・保安基準に適合するように取り付けてください。
- 両面テープを貼り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。特に湿度の高い日は湿度を下げてから行ってください。また最初にセロテープ等で仮止めをしてから取り付けすることをおすすめします。
- 貼り付け直後は十分な接着力が得られません。テープ本来の接着力を得るには24時間程度必要です。
- 接着力が高いため、はがす場合には接着面を傷める可能性があります。
- あらかじめモニターで撮影範囲を確認の上、取り付けしてください。
- ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けしてください。
- 純正ルームミラーの形状、または周辺の干渉物によっては取り付けできない場合があります。スマート・ルームミラー（モニター付ルームミラー）は取り付けできません。
- 本体固定用バンドは、時間が経過すると劣化します。劣化すると本体の脱落/落下の原因となりますので、新しいバンドに交換してください。販売店または弊社サービスセンターセンターにお問い合わせください。
- カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーのアンテナからできるだけ離して、機器に影響を与えないことを確認してください。

取り付け可能な純正ルームミラーサイズの目安

ご注意：ルームミラーの形状によっては取り付けできない場合があります。

スマート・ルームミラー（モニター付ルームミラー）は取り付けできません。

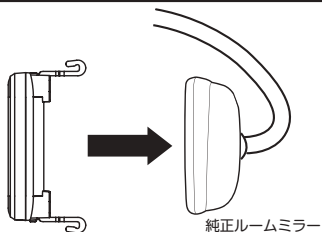


設置と接続

- 正式に取り付ける前に仮止め、仮設置をし基本動作や配線が正常にできることを確認してください。また、車の電装品が正常に動作することも確認してください。
尚、接続する場所によっては専門的な技術と経験が必要な場合があります。お買い上げの販売店にご相談してください。

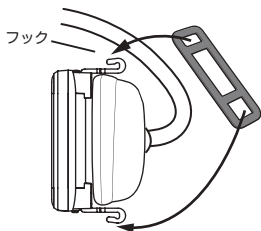
1. 本体の取り付け

1. 純正ルームミラーに本体を取り付ける



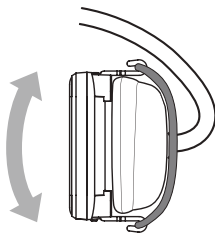
2. 本体固定用バンドを純正ルームミラー後方から本体のフックに取り付ける

- ※固定用バンドはルームミラーのサイズに合わせて調整してください。
- ※本製品は純正ミラーに取り付けするため、重量がかかり、特に4気筒エンジンのアイドリング時に振動する場合があります。
- ※標準の固定用バンドで取り付けられない場合はロングタイプを使用してください。



3. ミラー角度を調整する

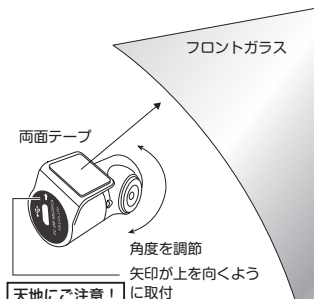
- ※純正ルームミラーを持ちながらミラー角度を調整します。



常時リアモニターをして使用する場合、ミラーへの映り込みが少ない車両天井を映す角度に調整すると、映り込みが低減されます。付属の反射防止フィルムを貼っても低減できません。(P.10 参照)

2. フロントカメラ部の取り付け

1. フロントカメラ取付ステー部の両面テープのはくり紙を剥がしフロントガラスに貼る



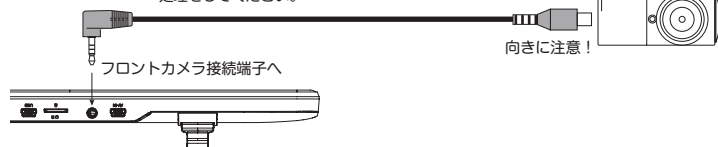
※できるだけ左右均等に映せる場所を確認しながら作業を進めてください。

2. レンズ部を回して角度を調節する

※ 360度回転できます。

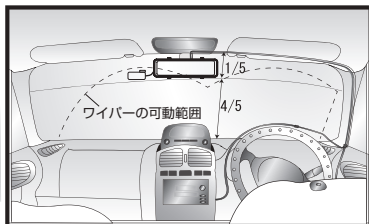
3. フロントカメラ接続ケーブルを本体とフロントカメラに接続する

※接続コードは、運転の支障にならないように配線処理をしてください。



重要!

本製品は道路運送車両法・保安基準第29条のフロントガラス装着規制対象外です。但し、設置場所はフロントガラスの開口部上端から下方向に1/5以内の場所に限ります。装着後、運転の邪魔にならないか、ルームミラーの操作の妨げにならないか等、十分に確認してから使用してください。また、レンズ部分がワイパーでふき取れる位置にくるよう取り付けてください。



設置と接続

3. リアカメラ部の取り付け

車外に取り付けする場合（推奨取り付け）

取付位置に関してのご注意

- 2009年1月1日以降に製造された乗車定員10人未満の車両の外装技術基準の適用が、2017年4月1日より開始されました。
- 自動車と人との衝突、接触時に人が負傷するおそれのある突起物が外装にあってはいけないことが規定されています。
但し、適応外となる部位があります。
 - ・高さ2m以上の部分
 - ・フロアラインより下の部分
 - ・直径100mmの球体が接触しない部分
 - ・直径100mmの球体が突起物と接触する部分の曲率半径が2.5mm以上である等※詳細は国土交通省のホームページを参照ください。

取り付ける前に

- 取付面の汚れ、湿気をしっかりと除去してください。
- あらかじめ仮接続、仮止めをし、モニターで確認しながら取り付ける位置を決めてください。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、接着面を暖めてから貼り付けしてください。
- 貼り付けたあと、24時間以内は水をかけたり、無理な力を加えないでください。
- 後方車のヘッドライトの直接光が当たらない位置に設置してください。

洗車時のご注意

- 自動洗車機、または高圧力の水で洗車を行わないでください。カメラ内に水が入ったり、カメラが落下する恐れがあります。
- 配線に水がかかった場合は拭き取ってください。

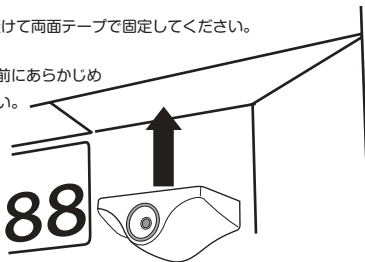
● 推奨取付位置

ナンバープレート近くのランプ等を避けて両面テープで固定してください。
コードを車内に引き込んでください。

※リアカメラ接続ケーブルを通線する前にあらかじめ

リアカメラの映りを確認してください。

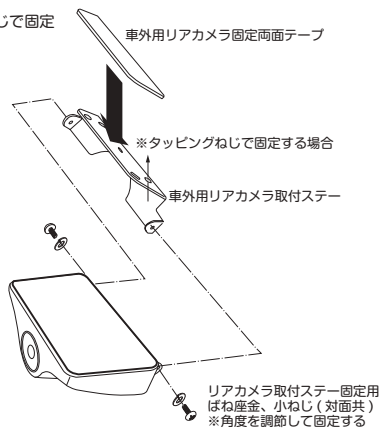
※リアカメラ接続ケーブルを配線するときはケーブルを強く引っ張らないで作業してください。



● カメラの角度を調整する必要がある場合

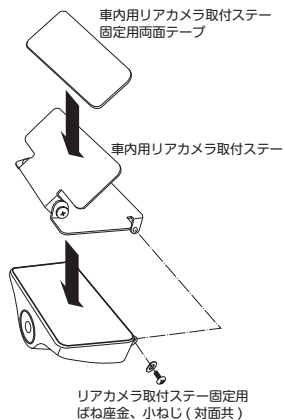
車外用リアカメラ取付ステーを使用して取り付けしてください。

※ねじ止めする場合は、付属のタッピングねじで固定してください。

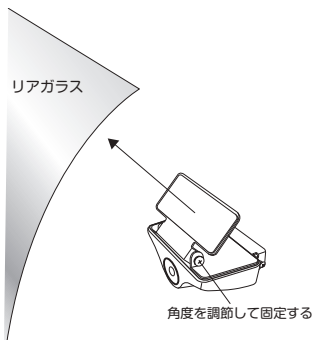


車内リアガラスに取り付けする場合

1. リアカメラに車内用リアカメラ取付ステーを貼り、付属のばね座金と小ねじで固定する

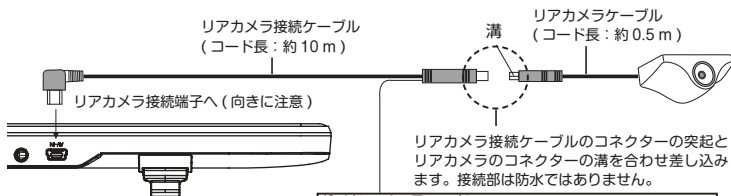


2. リアカメラを車内のリアガラスに貼り、 角度を調節してねじで固定する



※プライバシーガラスやスモークフィルムを貼ったリアガラスに取り付けした場合、本体画面に映る後方映像と記録映像が暗くなり鮮明な映像が得られない場合があります。

3. リアカメラ接続ケーブルのプラグを本体に接続し、コネクタ部をリアカメラに接続する



※接続ケーブルは、運転の支障にならないように配線処理をしてください。

ガイドライン用コード

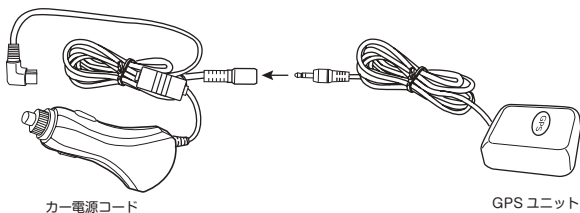
車両のバックランプ線の+側に接続することにより、シフトレバーをリバースにするとモニターがリアカメラの映像に自動的に変わります。また、画面上にガイドラインが表示され、バックする際の目安になります。

※ P.20 参照

・接続しない場合は、テープ等で絶縁処理してください。

4. GPSユニットの取り付け

1. GPSユニットの両面テープで車のダッシュボード等のGPS電波を受信しやすい場所に設置する
2. GPSユニットのプラグをシガー電源コードのGPSユニット中継ケーブルのジャックに差し込む



- 車外には設置しないでください。
- 両面テープを貼り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。特に湿度の高い日は湿度を下げてから行ってください。また最初にセロテープなどで仮止めをしてから取り付けすることをおすすめします。
- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。また、エアバックの近くには取り付けしないでください。
- 周辺部に金属やゴムなどの障害物がこないようにしてください。
- GPS測位に時間がかかる場合があります。また、走行中にも受信しにくい場合があります。(高速道路の高架下等はGPSが受信しにくい場所にあたります)
- カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーのアンテナからできるだけ離して、機器に影響を与えないことを確認してください。
- GPSユニットの抜き差しをする場合は本体の電源をOFFにしてください。

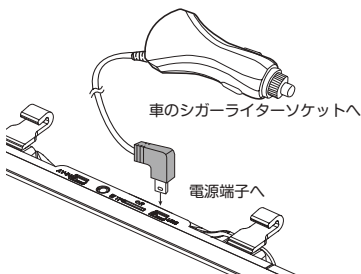
設置と接続

5. シガー電源コードの接続

1. 付属のシガー電源コードのプラグを本体の電源端子に差し込む
2. シガー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込む

△注意

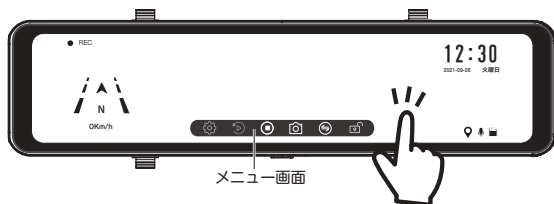
- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますので、よく掃除をしてから取り付けてください。
- シガー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。また、付属のカー電源コードを切断して車両配線と直結しないでください。車両配線と直結する場合は、パーキングモードケーブルを使用してください。




6. 画面タッチによるフロントカメラ / リアカメラの表示切り替え

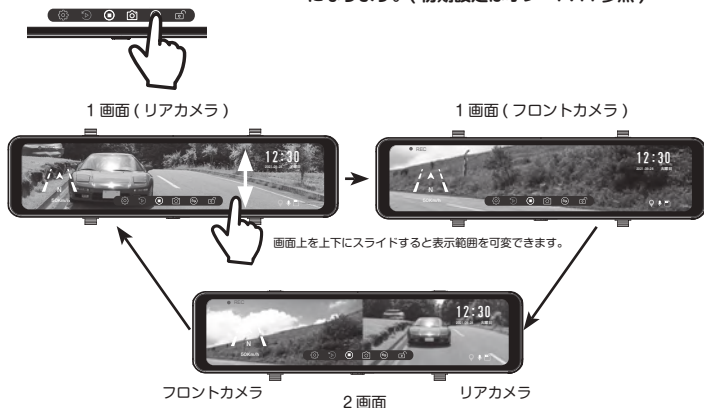
録画中 / 録画停止時にボタン操作でフロントカメラとリアカメラの表示を切り替えることができます。

1. LCD スクリーンをタッチして“メニュー”画面を表示させます。



2.  ボタンをタッチする度に切り替わります。

ご注意：自動リア表示の設定がオンになっているとリアカメラ以外に切り替えても、しばらくするとリアカメラ画面になります。（初期設定はオン：P.44 参照）



ご注意：表示範囲の調整は SD カードを挿入し、フォーマット後に行ってください。（P.21、P.22 参照）

設置と接続

7. ガイドラインコードの接続

1. 車両のバックランプ線の + 側にガイドラインコードを接続する

2. ガイドライン表示の確認

- (1) 車両のシフトレバーをリバースにするとリアカメラの映像に自動的に変わります。
- (2) 同時に赤色、黄色、緑色のガイドラインが表示されます。


ご注意：表示範囲、ガイドラインの位置調整は SD カードを挿入し、フォーマット後に行ってください。(P.21、P.22 参照)




ガイドライン表示
※ガイドライン表示は
設定で消すこともでき
ます。(P. 44 参照)

画面上を上下にスライドすると表示範囲を可変できます。

● ガイドラインの位置調整

ガイドラインの位置の調整ができます。画面にタッチし上下にスライドして表示範囲を調整後、各種設定の“ガイドライン調整”で “” マークをタッチして左右、上下にドラッグして調整します。

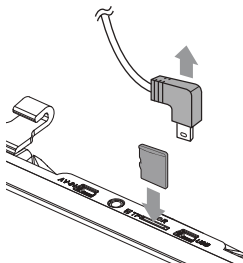
“” マークはタッチして左右にドラッグできます。“P. 44 参照”



はじめにすること

1.SD カードを挿入する

SD カードのラベル面を LCD スクリーン側にして本体のカード挿入部に“カチッ”と音がするまで挿入します。必ずカードの向きに注意し無理に入れないでください。また、カードを抜く場合にも同様に“カチッ”と音がするまで押してから引き抜いてください。



ご注意:SD カードの抜き差しは、電源プラグを抜いた状態で行ってください。

重要!

⚠注意

- SD カードは消耗品です。ドライブレコーダでご使用の場合耐用年数は3ヶ月から1年です。3ヶ月から1年毎に新しいmicroSDHCカードと交換することをお勧めします。
- 同梱以外のSDカードを使用する場合も必ずフォーマットをしてください。また、SDカードメーカーによっては性能を発揮できない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。(推奨 microSDHC カード: 8~32GB の Class10 以上)
- 小さなお子様のいらっしゃるご家庭では手の届かないところで保管してください。

はじめにすること

2. SD カードのフォーマット (必ず行ってください)

SD カードは専用のファイルシステムに書き換える必要があります。未使用の SD カードや本機以外で使用した SD カードを挿入するとフォーマットの画面が表示されますので、必ずフォーマットを行ってください。

1. SD カードを挿入する

2. 付属のシガー電源コードで本体と車のシガーソケットを接続する (P.18 参照)

3. 車のエンジンをかける

自動的に電源が入り、フォーマットの画面が表示されます。



4. OK をタッチする



“カードフォーマット中”が表示され、続けて“カードフォーマット完了”と表示され消えれば、フォーマット完了です。

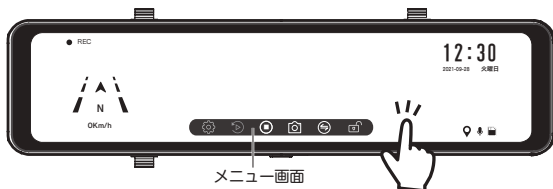
5. しばらくすると、録画を開始します

■フォーマットフリー機能

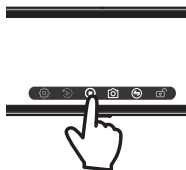
本製品は専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステムに比べ、保存データの破損が少なく、記録と削除の繰り返しによる SD カードの断片化を格段に抑えたファイルシステムとなっているため、基本的にフォーマットを行う必要はありません。正常に書き込み、読み込みができない場合や、動作が不安定な場合に再度、本機でフォーマットを行ってください。安心して、ご使用いただくために、2ヶ月ごとに設定画面でのフォーマットをお勧めします。次ページに設定画面でのフォーマット方法を記載します。

■ 設定画面でのフォーマット

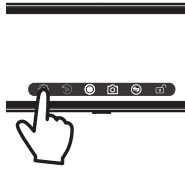
1. LCD スクリーンをタッチして“メニュー”画面を表示させる



2. ボタンをタッチして録画を停止する

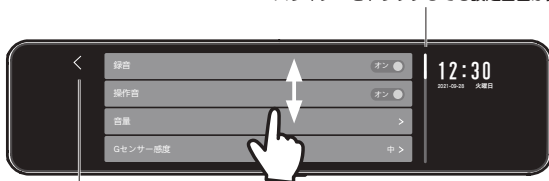


3. ボタンをタッチする



4. 設定画面が表示されます

スライダーをドラッグしても設定画面が変わりません。

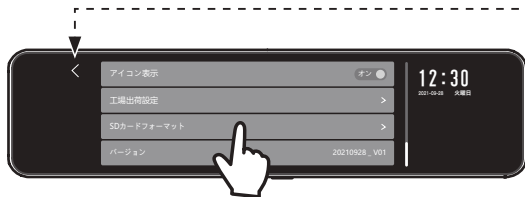


“戻る” ボタン

設定画面上を上下にスライドさせて、“SD カードフォーマット”
を表示させます。

はじめにすること

5. “SD カードフォーマット” をタッチする



SD カードフォーマット画面が表示されます。



6. “OK” をタッチする



“カードフォーマット中” が表示されます。

“カードフォーマット完了” が表示され設定画面に戻り、フォーマット完了になります。

7. 設定画面の“戻る” ボタンをタッチして終了

設定画面左上の“<” をタッチすると録画モードに戻り録画を開始します。-----

3. 日時を確認する

本製品はGPSを搭載しており、GPSを測位すると、自動的に日時を取得できます。一度、日時を取得すれば、GPSが測位していない状況でも日時は内蔵電池で保持されます。

1. GPS 測位していることを確認する



GPS 測位すると、方位と速度が表示されます。
GPS アイコンが緑に変わります。

2. 日時を確認してください



撮る

録画を開始する

車のエンジンをかける

外部からの電源が供給されると、自動的に電源が入り記録が開始されます。

録画が開始されると、画面の録画マークが点滅を開始します。

※ SD カードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。“カードが挿入されていません”と表示されます。

録画面面

録画マーク

赤で点滅中は常時録画中

黄で点滅中はイベント録画中

録画中は“REC”と表示




タッチすると録画の停止

GPS アイコン表示
測位すると緑で表示

SD カード挿入表示
未挿入時は？が表示

音声録音 ON/OFF
表示。OFF 時は \ が
表示 (P. 41 参照)

※常時録画中は録画マークが赤で点滅します。メニュー画面で“” ボタンをタッチすると録画が停止します。但し、オート録画がオンの場合は、しばらくすると録画を開始します。(初期設定はオン P.43 参照)

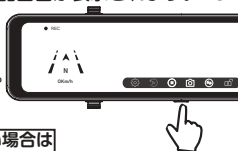
●スクリーンセーバー

録画中 / 録画停止中に“電源 / モニター切替ボタン”を短く押すと、液晶画面が消えます。(スクリーンセーバー) 再度、ボタンを押すと液晶画面が表示されます。LCDスクリーンをタッチしても表示されます。

※液晶画面が消えても録画等の動作は行っています。

※各種設定の“スクリーンセーバー”でも設定できます。

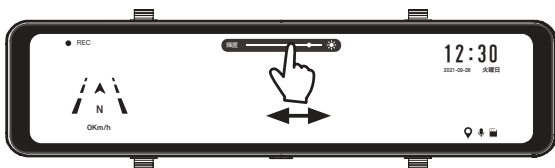
(P.42 参照)



ご注意：液晶画面を消して、ルームミラーとして使用したい場合は
反射防止フィルムは貼らないでください。

●液晶画面の明るさ調整

録画中 / 録画停止中に LCD スクリーン上部をタッチすると、輝度画面が表示されます。輝度スライダーを左右にスライドすると、液晶画面の明るさを調整できます。無操作が続くと輝度画面は消えます。

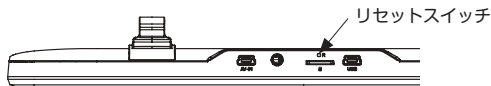


スライダーを左右にスライドさせて、明るさを調整します。

●初期化 (リセット) について

本機が正常に動作しない場合やフリーズした場合には初期化を行います。本体裏面のリセットホールのスイッチをクリップの先などで押してください。

リセットをすると、正しく電源が再起動されます。初期化を行っても問題が解決されない場合は、SD カードを抜いて再度リセットをして確認します。SD カードを抜いて正常に動作する場合は SD カードをフォーマットしてください。




撮る

1. 常時録画

常時録画は SD カード容量の約 70%の保存領域内で 1 分ごとにファイルを作成し、連続撮影をします。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

2. イベント録画 (G センサー / 手動)


イベント録画は SD カード容量の約 29%の保存領域内で G センサーが設定値以上の衝撃を検知したり、手動で “” ボタンをタッチするとイベント録画として保存します。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

※ G センサー感度設定は P. 41 参照 (初期設定は中感度)

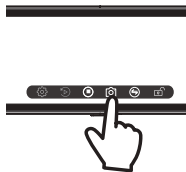
※ イベント録画が開始されると “イベント録画を開始します” が表示され録画マークが黄色で点滅します。ボタンが黄色の “” に変わります。



3. 静止画を撮る

録画中 / 録画停止時に LCD スクリーンをタッチし、メニュー画面を表示させ “” ボタンをタッチすると写真を 1 枚撮影することができます。この時、シャッター音が鳴ります。

静止画は SD カード容量の約 1% の保存領域内で撮影できます。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して撮影を繰り返していきます。




録画を停止する

1. LCD スクリーンをタッチし、メニュー画面を表示させ “” ボタンをタッチする



エンジンを切るか、“” ボタンを押すと録画が停止します。

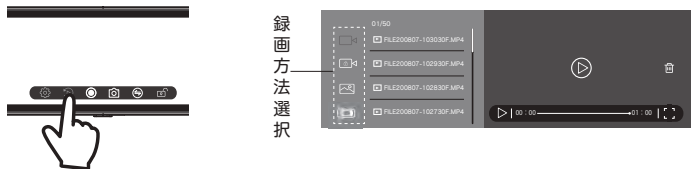


タッチすると録画の停止

※メニュー画面で “” ボタンをタッチすると録画が停止します。但し、オート録画がオンの場合は、しばらくすると録画を開始します。（初期設定はオン P.43 参照）




本体で見る

- 録画中は、LCD スクリーンをタッチし、メニュー画面を表示させ“” ボタンをタッチして録画を停止する
- メニュー画面で“” ボタンをタッチして再生モード画面にする



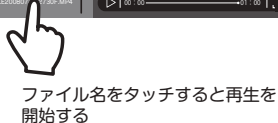
3. 録画方法を選択する

- (1) 録画方法選択し、ボタンをタッチする。



-  常時録画
-  イベント録画
-  静止画



- (2) 録画方法を選択すると、その録画ファイルが表示されます。
- (3) フロントカメラ / リアカメラの切り替えボタンをタッチしてカメラを選択します。
- (4) ファイル画面上をスライドして、再生したいファイルを選択します。



4. ファイル名をタッチすると再生を開始する

※ 録画の再生を開始します。再生を一時停止するときは、“” ボタンをタッチしてください。(|| マークが▶に変わります) 一時停止状態でもう一度、“” ボタンをタッチすると再び再生を始めます。

再生中画面



時間スライダーをドラッグすることができます。

ファイル名

常時録画が記録されると下記のファイル名で保存されます。

FILE210801-123456-000001F.MP4

F: フロントカメラ
R: リアカメラ

西暦 月、日 時、分、秒 ファイル番号 動画形式

◀ 常時録画のファイル名

ファイル名

イベント録画が記録されると下記のファイル名で保存されます。

EMER210801-123456-000001F.MP4

F: フロントカメラ
R: リアカメラ

西暦 月、日 時、分、秒 ファイル番号 動画形式

◀ イベント録画のファイル名

ファイル名

静止画が記録されると下記のファイル名で保存されます。

IMG210801-123456-000001F.JPG

F: フロントカメラ
R: リアカメラ

西暦 月、日 時、分、秒 ファイル番号 静止画形式

◀ 静止画のファイル名

見る

再生中画面（全画面）

再生モード画面の時間スライダー横の“⌂” ボタンをタッチすると、全画面表示になります。



“🗑️” ボタンをタッチすると、再生中のファイルを削除します。

“⏮️” ボタンをタッチすると、1つ後のファイルを再生します。

“⏪” ボタンをタッチすると、1つ前のファイルを再生します。

“🏠” ボタンをタッチすると、再生モード画面に戻ります。

5. 再生の終了

※ 再生モード画面で設定画面左上の“<” をタッチすると録画モードに戻り録画を開始します。オート録画がオンの場合は無操作が続くと録画を開始します。

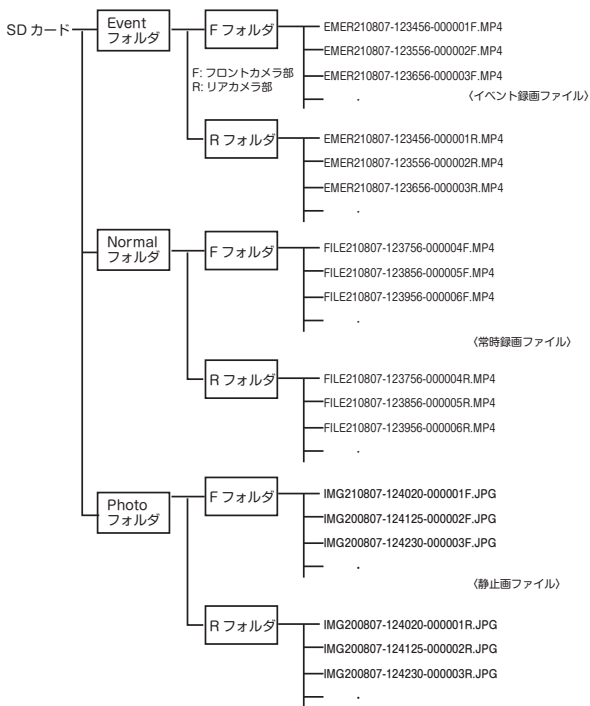


パソコンで見る (SD カード)

- ・ Windows 8.1/10 /11 がインストールされたパソコン。
- ・ Windows Media Player 等の H.264 動画再生ソフトがインストールされていること。
(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

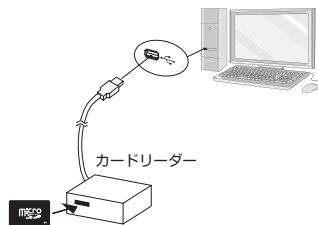
フォルダ構成

映像が記録されている SD カード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



見る

1. カードリーダーをパソコンに接続する



2. SD カードをカードリーダーに挿入する

※ microSD/SDHC を直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーは必要ありません。

3. “Event” “Normal” “Photo” フォルダがあるリムーバブルディスクを開く



4. 再生したいフォルダを開く

“F” “R” フォルダが表示されます。



5. “F” または “R” フォルダを開く 録画ファイルが表示されます。

※ ファイルを開くと動画再生ソフトが立ち上がり、動画の再生が始まります。

ご注意：動画再生ソフトにより、記録音声が出力されない場合があります。その場合は専用ビューアーをご使用ください。(P.35 参照)



パソコンで見る（専用ビューアー画面で見る）

本製品の製造元である株式会社エフ・アール・シー社のホームページより専用ビューアーソフトをインストールすることで、記録した映像をパソコンで再生することができます。

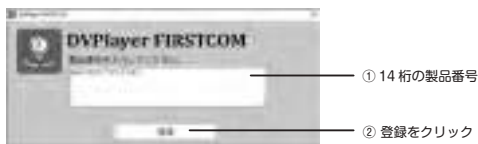
※ビューアー画面のデザイン等は変更する場合があります。

※ビューアーのインストール / 操作等はパソコンの基本的な知識が必要となります。

（パソコン操作等のお問い合わせは、お受けできません。）



1. ビューアーソフトをダウンロードし、パソコンにインストールします。
2. ビューアーソフトを起動します。
3. ウィンドウ左上のプルダウンメニューより“製品登録”を選択し、ドライブレコーダー本体のラベルに記載されている 14 桁の製品番号を入力を入力し、“登録”をクリックします。



4. ウィンドウ左下の“製品未登録”が“--- KM/H”の表示に変わればビューアーソフトが使用可能です。

※登録可能なパソコンは1製品番号あたり1つのパソコンです。他のパソコンで使用する場合、プルダウンメニューの“製品登録”を選択し、“製品登録を削除”で“はい”を実行後、再度、他のパソコンで製品登録してください。

5. プルダウンメニューより“設定”→“再生モード”→“2画面”を選択します。
6. プルダウンメニューより“ファイル”→“開く”を選択し、再生するファイルを選択します。ファイルを選択すると同一フォルダ内のファイルリストが読み込まれた後、選択したファイルから再生を開始します。

見る



■ビューアーの説明

NO.	表示名	表示説明
①	プルダウンメニュー	"ファイル" "設定" "製品登録" のプルダウンメニューよりファイルを開く、各種設定を行うことができます。
②	表示エリア A	選択したフロントカメラ録画ファイルの映像を表示します。
③	時間スライダ	ドラッグして撮影時間内を移動できます。
④	操作ボタン	◀ プレイリストの前のファイルを再生します。
		◀◀ 10秒前を再生します。
		▶▶ 再生/一時停止ボタン。▶を押すと再生。 を押すと一時停止。
		▶▶▶ 10秒後を再生します。
▶ プレイリストの次のファイルを再生します。		
⑤	走行速度表示	GPSでの走行速度を表示します。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑥	緯度経度表示	緯度・経度を表示します。※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑦	選択ファイル走行情報表示	選択した録画ファイル中の最高速度、平均速度、走行距離を表示します。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑧	G センサーグラフ	G センサーのデータを X 軸、Y 軸、Z 軸でグラフ表示します。
⑨	機能ボタン	スナップショットの保存。ファイルの再読み込み。表示サイズの変更。再生音量の変更ができます。
⑩	プレイリスト走行情報表示	プレイリスト中の最高速度、平均速度、走行距離を表示します。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑪	プレイリスト	読み込んだファイルが表示されます。
⑫	地図表示	地図上に自転車位置が表示されます。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑬	表示エリア B	選択したリアカメラ録画ファイルの映像を表示します。

GPS 機能を使う

本製品は GPS 機能を有しており、日時合わせを自動的に行ったり、速度も表示できます。また、“速度超過警報” “専用ビューアー画面” の機能が使用できます。

速度超過警報

- (1) 各種設定で “速度警告” の設定をします。(P.43 参照)
- (2) GPS 測位していることを確認します。
- (3) 速度が設定値を超えるとアラーム音で警報をします。



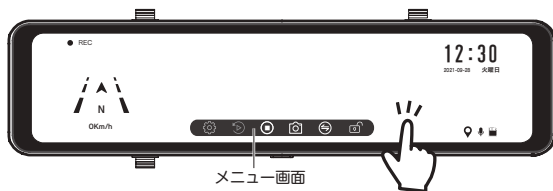
GPS 測位すると、方位、速度が表示されます。

- ※ GPS を測位しているとき機能します。GPS 測位していない場合は機能しません
- ※ 周辺部に金属やゴムなどの障害物がこないようにしてください。
- ※ ビルの谷間、高速道路の高架下、森林等は GPS が受信しにくい場合があります。
- ※ GPS ユニートを抜き差しする場合は必ず電源を切ってください。

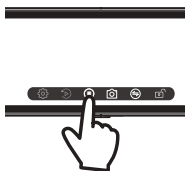
各種設定

設定手順

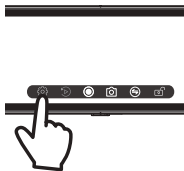
1. LCD スクリーンをタッチして“メニュー”画面を表示させる



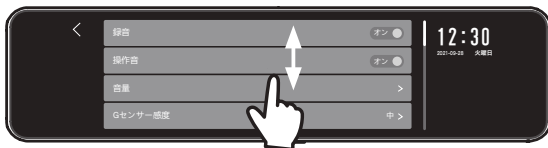
2. 停止ボタンをタッチして録画を停止する



3. 設定ボタンをタッチする



4. 設定画面が表示されます



設定画面上を上下にスライドさせて、設定したい項目を表示させます。

※設定項目に選択欄が表示されている項目はここで、タッチして選択できます。
※設定項目に“>”が表示されている項目は画面をタッチすると選択画面が表示されます。

各種設定

5. 設定項目に“>”が表示されている項目は画面をタッチすると選択画面が表示されます

6. お好みの設定をタッチする

設定が確定され設定画面に戻ります。

7. 設定画面の“戻る”ボタンをタッチして終了

設定画面左上の“<”をタッチすると録画モードに戻り録画を開始します。



■設定項目

映像と同時に周囲の音を録音

録音

映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうか選択できます。

オン	音声を記録する（初期設定）
オフ	音声を記録しない

オン 

ここをタッチするとオン/オフが切り替わります。

操作音のオン/オフ設定

操作音

画面タッチ時に操作音を鳴らすか選択できます。

オン	操作音鳴らす（初期設定）
オフ	操作音鳴らさない

オン 

ここをタッチするとオン/オフが切り替わります。

音量の調節

音量

操作音や再生音量の調節をします。画面の“-”“+”をタッチして調節してください。

衝撃感度

G センサー感度

G センサーは、事故や衝突など一定以上の衝撃が加わるとイベント録画として保存されます。G センサーの感度は3段階調整できます。

※ SD カードの容量の約 29%を超えると古いファイルから上書き保存されます。

※ 衝撃の度合いや方向によっては G センサー設定値より一定以下の場合、動作しない場合があります。

高感度	
中感度	（初期設定）
低感度	
オフ	G センサーを使用しない

各種設定

日付と時刻を設定する

日時設定

映像に記録する日時の設定をします。
本製品は GPS を搭載していますので、自動取得できます。

LCD スクリーンに日時を表示する

日時表示

LCD に日時を表示する、しないの設定をします。

オン	表示する (初期設定)
オフ	表示しない

オン

ここをタッチするとオン / オフが切り替わります。

時間の表示形式の選択

時間の表示形式

12 時間表示 / 24 時間表示 (初期設定) を選択します。

12 時間	
24 時間	(初期設定)

言語を選択

言語

メニューや警告などの表示言語を選択できます。

選択可能な言語は日本語 (初期設定) と English (英語) 中国語です。

蛍光灯のチラツキを抑える

電源周波数設定

蛍光灯下でのチラツキを抑えるための設定です。東日本では 50 Hz、西日本では 60 Hz を選択します。

50Hz	東日本地域 (初期設定)
60Hz	西日本地域

液晶画面を消す (スクリーンセーバー)

液晶オフ

一定時間経過すると LCD 表示を消します。

オフ	常に表示 (初期設定)
1 分	
2 分	
3 分	

再度、LCD スクリーンをタッチすると表示されます。

※液晶画面が消えても録画等の動作は行っています。

GPS 情報

弊社検査用。使用しません。

タイムゾーン設定

タイムゾーン設定

グリニッジ標準時。

日本は GMT+09 : 00(初期設定)
を選択してください。

速度表示単位の選択

速度単位

キロメートル毎時 (初期設定)
マイル毎時を選択します。

KM/H	キロメートル毎時表示 (初期設定)
MPH	マイル毎時表示

設定速度を超えると警報する

速度警告

オフ (初期設定)

30km/h ~ 160km/h を選択してください。

GPS 表示のオン / オフ設定

GPS 表示

GPS 表示 (方位 / 速度) のオン / オフを設定します。(初期設定はオン)



ここをタッチするとオン / オフが切り替わります。

撮り忘れを防止する

オート録画

オンに設定すると、無操作が続くと自動的に録画が開始されます。

※オート録画をオフに設定しても電源オン時では自動的に録画を開始します。

オン	自動的に録画に戻る (初期設定)
オフ	自動的に録画に戻らない

起動時の画面表示の設定

起動時画面設定

起動時の画面表示を設定します。リアカメラ (初期設定) / フロントカメラ / 2 画面を選択できます。

※リアカメラ以外の画面を設定しても自動リア表示がオンになっているとしばらくすると、リア画面に切り替わります。

各種設定

リアカメラの映像に切り替わる

自動リア表示

自動リア表示にすると、リア画面以外に切り替えても、しばらくするとリア画面に戻ります。

オン	(初期設定)
オフ	



ここをタッチするとオン / オフが切り替わります。

リアカメラの鏡像 / 正像の設定

リアカメラ左右反転

鏡像 (左右反転) のオン / オフを設定します。

オン	鏡像 (初期設定)
オフ	正像



ここをタッチするとオン / オフが切り替わります。

リアカメラ映像にガイドラインを表示

ガイドライン表示



ガイドライン用コードを車両のバックランプ線の + 側に接続することにより、シフトレバーをリバースにするとリアカメラの映像に自動的に変わります。また、画面上にガイドラインが表示され、バックする際の目安になります。ガイドライン表示の初期設定はオンです。(P.20 参照)



ここをタッチするとオン / オフが切り替わります。

ガイドラインの位置を調整する

ガイドライン調整

ガイドラインの位置の調整ができます。各種設定の“ガイドライン調整”で“”マークをタッチして左右、上下にドラッグして調整します。“”マークはタッチして左右にドラッグできます。“P. 20 参照”

※ SD カードを挿入し、フォーマット後に調整してください。
(P.21、P.22 参照)

アイコンのオン / オフ

アイコン表示

LCD スクリーン右下の GPS / マイク / SD カードのアイコンを非表示にすることができます。

設定を工場出荷時に戻す

工場出荷設定

設定を工場出荷状態に戻します。出荷状態に戻すときにはメニュー選択後「OK」を選択してください。

OK
キャンセル

SD カードを初期化する

SD カードフォーマット

SD カードの初期化を行います。SD カードを初期化すると、記録したデータは全て消去されます。必要なデータは初期化する前にあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。
(P.23 参照)

OK
キャンセル

ソフトウェアのバージョンを確認

バージョン情報

本機ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

記録時間の目安

SD カード容量	常時録画	イベント録画 (衝撃/手動)	動画合計	静止画 (フロント+リア)
8GB	約 27 分	約 8 分	約 35 分	約 37 枚
16GB	約 55 分	約 15 分	約 1 時間 10 分	約 75 枚
32GB	約 1 時間 50 分	約 30 分	約 2 時間 20 分	約 150 枚

■ 駐車録画 (タイムラプス録画) のみでの記録時間の目安

SD カード容量	駐車録画 (1fps)	駐車録画 (2fps)	駐車録画 (5fps)
8GB	約 12 時間 30 分	約 6 時間	約 2 時間 30 分
16GB	約 25 時間	約 12 時間 30 分	約 5 時間
32GB	約 50 時間	約 25 時間	約 10 時間

ご注意

- ・ 駐車監視時間は連続最大 24 時間です。・ バッテリー電圧が 12.2V または 24.4V 以下になると自動的に電源をオフします。詳しくは、パーキングモードケーブル (DC-JD4PK II) の取扱説明書を参照してください。
- ・ パーキングモード時は GPS 機能を停止します。

※ 記録時間は目安であり、ご使用の環境、映像の内容等によって変わります。

※ SD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

※ タイムラプス録画：駐車監視モード中、1 秒に設定枚 (1/2/5 枚) の静止画を撮影し、撮影するコマ数を少なくし一定間隔で撮影された画像をつなげ合わせることで早送り再生したような動画を再生できる機能です。本製品は、1 秒間に 1 枚、2 枚、5 枚の設定が可能です。

パーキングモードケーブルを使う

本機はパーキングモード（タイムラプスタイプ）を搭載しており、パーキングモードケーブルを使用することにより、駐車時の録画をタイムラプスで行います。録画の保存は、常時録画と同様に SD カード容量の約 70%の保存領域内で録画繰り返し時間ごとにファイルを作成し、連続撮影をします。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

また、車両のシガーソケットから電源を供給できない場合でも直接、車両に配線することにより電源を供給できます。詳細はパーキングモードケーブル (DC-JD4PK II) の取扱説明書を参照してください。

本体ソフトウェアのアップデート

本体のソフトウェアがバージョンアップされた場合、弊社ホームページに掲載します。ソフトをダウンロードすることで最新のバージョンにすることができます。

※詳細はホームページを参照ください。

故障かな？と思ったら

SD カードを認識しない
記録が停止する

- 「SD カードエラーです。」と画面表示が出る。
⇒カードを本体に挿入してください。
⇒ SD カードをフォーマットしてください。
(P.23)
- microSD カードは消耗品です。一定期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な記録ができなくなる可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい microSD カードと交換してください。市販の microSD カードは、用途により仕様が異なるため、動作を一切保証しておりません。弊社営業経路にて動作確認が取れている microSD カードをお買い求めください。

TEL.042-816-2866

動作確認済 microSD カード

32GB : GTMS0323SSTC101(付属品)

16GB : GTMS016HSMC101

8GB : GTMS008HSMC101

電源が入らない
画面が真っ黒
電源が落ちる
再起動を繰り返す

- シガー電源コードの接続配線を確認してください。
- SD カードをフォーマットしてください。(P.23)
- SD カードを抜いて電源を入れる
⇒改善した場合、SD カードを交換してください。

電波干渉によってナビの
TV 画面が1 セグに切り替
わる。もしくは映らない。

- 配線の取り直しをご確認ください。
- TV のアンテナコードと本機のケーブルをまとめています。
⇒配線は別にまとめてください。
 - 配線を含む本機とフィルムとアンテナの位置が近い。
⇒離して取付をお願いします。
 - ナビ本体や他の機器に本機のケーブルをまとめています。
⇒離して取付をお願いします。

画面にドット欠損(輝点
滅点)がある

●液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。

日時表示が違う

●内蔵のコインバッテリーが放電してしまっている。
⇒本体に電源が入った状態でしばらく充電してからGPS測位後、日時を確認してください。充電しても初期値に戻ってしまう場合は内蔵のコインバッテリーの寿命ですので交換が必要になります。

リアカメラが映らない

●接続コードがしっかり接続されていない。
⇒接続コードを確認してください。
●表示がリアカメラ以外になっている。
⇒切り替えボタンでリアカメラに切り替えてください。(P.19)

操作を受け付けない

●SDカードが壊れている可能性があります。
⇒SDカードを抜いて動作をする場合には、SDカードが壊れている可能性があります。
●内部CPUのリセットをする。
⇒リセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。(P.27)

それでも
動かないときは

〒194-0015
東京都町田市金森東 3-6-5-201
株式会社 SKYcreation
TEL : 042-816-2866
土日祝日及び弊社休業日を除く
【10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00】

主な仕様

外形寸法	: 本体 約 255 (幅) × 72 (高さ) × 18 (奥行) mm フロントカメラ 約 52 (幅) × 24 (高さ) × 28 (奥行) mm リアカメラ 約 59 (幅) × 24 (高さ) × 30 (奥行) mm GPS ユニット 約 38 (幅) × 14 (高さ) × 46 (奥行) mm 突起部除く
質量	: 本体 約 322g フロントカメラ 約 18g リアカメラ 約 47 g (コード含む)/GPS ユニット 約 47g (コード含む)
記録媒体	: microSDHC カード (32GB 付属) 8 ~ 32GB 対応 (Class10 以上)
撮像素子	: フロントカメラ 200 万画素 CMOS リアカメラ 200 万画素 CMOS 鏡像 / 正像切替可能
レンズ画角	: フロントカメラ 水平 約 115 度 垂直 57 度 (約 136 度対角) リアカメラ 水平 約 125 度 垂直 67 度 (約 145 度対角)
最大記録画角	: フロントカメラ 水平 約 106 度 垂直 55 度 (約 125 度対角) リアカメラ 水平 約 116 度 垂直 62 度 (約 138 度対角)
記録解像度	: 1920 × 1080 (Full HD) フロント / リアカメラ
画像補正	: WDR (フロント / リアカメラ)
GPS	: 搭載
G センサー	: 有り (オフ、高、中、低) 3 段階調整
記録方式	: 常時録画、イベント録画 (G センサー、手動) 駐車録画 (タイムラプス録画: オプション)
録画ファイル構成	: 1 分
画面サイズ	: 10.88 型 IPS 液晶モニター 1920 × 480 ドット
音声	: ON/OFF 可能
フレームレート	: フロントカメラ 27.5fps / リアカメラ 25fps
映像ファイル形式	: 動画 MP4 (H.264) 静止画 JPG
記録映像再生方式	: H.264 再生ソフトまたは専用動画再生ソフト
電源電圧	: DC12/24V (本体 DC5V)
バックアップ電源	: スーパーキャパシタ、ボタン充電電池 (時計用)
消費電流	: 約 650mA (DC12V 時)、約 330mA (DC24V 時) 駐車録画 約 400 mA シャットダウン時 約 1mA オプション
動作温度範囲	: -10 ~ +60°C
商品保証期間	: 3 年間 (microSDHC カード等消耗品除く)
言語	: 日本語 / 英語 / 中国語

●商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証規定

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したのですが、万一ご購入後3年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ① 使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
- ② ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
- ③ 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
- ④ 本保証書のご提示がない場合。
- ⑤ 本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 使用上修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
- 必要なファイルは、必ずお客様にてバックアップをお取りください。お預かりしたデータの保証はいかなる場合でもできません。
- 保証は不具合が発生した製品を販売店にお持ちいただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 保証の範囲は商品のみ保証となり、取り付けや取り付けにかかる費用の保証や商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

※あらかじめご承知いただきたいこと

- ・ 修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に変わって同等品と交換させていただきます。
- ・ 出張による修理は一切致しませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本取扱説明書の内容は、機能改善のため予告なく変更する場合があります。

※ SD カード、両面テープは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。



品質保証書

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。万一、ご購入後3年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保管してください。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参いただくか、弊社宛てに症状をお書き添えの上送付願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店、または弊社サービス課にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

商品名	2カメラ・ルームミラー型 ドライブレコーダー			SKY-DC330
保証期間	3年間 (消耗品除く)	購入年月日	年 月 日	
お客様	ご住所			
	TEL.			
	お名前			
販売店	住所			
	店名			
	(印)			

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

SKYCREATION

株式会社 SKYcreation
〒194-0015
東京都町田市金森東 3-6-5-201